委員会のうごき

産業
建設
厚生

常任委員会（委員長　矢野依伸）

令和7年度決算・令和8年度補正予算を審査

今回、本委員会に付託された13議案は、審査の結果、すべて全会一致で、認定及び可決すべきものとなった。

●7年度黒潮町一般会計歳入歳出決算の認定

■ふるさと納税　7億5419万円

商品提供事業者と返礼品数は増えているが、返礼品の一番はカツオである。昨年は戻りカツオが不漁のため返礼品としての確保が出来ず、前年に比べ1億1900万円程度寄付額が減少した。

人気のふるさと納税返礼品カツオ

■ごみ袋作製委託料　437万円

ごみ袋大・中・小を合わせて37万5千枚の作製と、資源ごみ分別収集容器44個分の支出経費。

Q 近隣自治体ではごみ袋作製に苦慮していると聞くが本町はどうか。

A 現在のところ問題はない。

●救急搬送時の帰宅困難者助成事業　7千円

Q 実績が2件とのことであるが町民への周知などはどうか。

A 主な救急搬送先としては幡多けんみん病院や四万十市立病院となるが、病院の方に助成事業について説明をしていて、搬送者に帰宅時の手段について確認をお願いしている。

結果として7年度は2件の利用であった。

●黒潮町手数料条例の一部を改正する条例

ふるさと納税出荷伝票作成手数料として1件100円を徴収していたが、手数料が返礼品価格に転嫁されることとなり本手数料を条例から削除し、今年10月1日から施行するもの。

●8年度黒潮町一般会計補正予算

令和7年度決算で額が確定したことによる国庫及び県負担金の返還や特別会計への繰出金、施設修繕料などが主な補正内容。

■地域脱炭素移行・再生エネ推進交付金返還金　799万円

公共施設への太陽光発電設備設置を当初53施設に計画していたが、資材高騰の中、屋根の形状などによる想定以上の資材が必要になることや構造物の施工条件により採算性に問題があることなどから24施設を取りやめたことに伴う交付金を返還するもの。

入野小学校設置の太陽光発電設備

■水産業総務費旅費　55万円

兵庫県家島の水産会社や漁協へ活餌の供給等について関係者との協議のため、また、カツオ一本釣りの水揚げ漁港の千葉県勝浦と宮城県気仙沼の漁港、そして、近年ビンナガマグロの水揚げ漁港である塩釜漁港へ赴き、漁協や地元関係者と流通経路等の確認や販促活動などのための職員旅費。